東京都大田区蒲田 5 の10の 2

全日本港湾労 働組合機関紙 (毎月1日発行) 部20円 (組合員の購読料は) 組合費の中に含む

発行責任者

松永英樹

(昭和25年) 国有鉄道扱



真島委員長は

と黙祷を捧げ決意を新たにし で亡くなられたことが報告さ 年末年始に相継いで労災事故 ○歳代の組合員四名の方々が 〇名が参加し、 二度と繰り返してはならない 東地方の中村直樹中央委員を 海地方の山賀茂中央委員、関 委員会を開催した。 、このような悲しい事故を しかし、中央委員会冒頭 沖縄セメント工業分会か 央委員会の開会にあた 利の嬉しい報告を受け 鈴木副委員長より、二 熱心な議論をおこなっ 裁判闘争で勝利し、闘 議長団に日本 になっており重要な課題とな

けるのではと思う。そして、 港湾産別賃金の問題にも決着 る。港湾の認可料金も労使で り組んだ成果であると考え 激論を交わせば同じ方向に向

これは労使が一体となって取 踏み込んで確立させている。 改正され与野党全会一致で一 っている。また、昨年十二月 には貨物自動車運送事業法が 八年ぶりに規制強化がなされ 標準運賃告示制度を国が びかけた。 壊されてしまう。 執行委員長からは たら終わり、 必要がある。 頭に立って立ち上がっていく のままでは集団的労使関係が つまでたたかい抜こう」と呼 来賓の全国港湾・糸谷中央 楽しく明るく勝 労働運動は諦め 全港湾が先

事業法の改正に見習い、港湾 の検討に入りたいと考えてい を迎える。規約規定の見直し が連合体化してから一一年目 げを訴えて行きたい。 全体の底上げを、 る。そして、貨物自動車運送 行こう」との挨拶を受けた。 意思を示し行動に取り組んで 料金の値上 「全国港湾 我々の 会においても充分議論してお く必要がある。また、全国港

る。中央でも安全対策に努力 するが原点は職場での点検が 総括答弁のポイント 重大災害が一月に三件も発生 したことを重く受け止めてい 「死亡事故 の規約改正案が中央委員会

山賀茂中央委員 (左)、中村直樹中央委員 (右)

無視して辺野古新基地建設を強行に再開しました。

重要」とした上で次の様に述

については「賃金引上げ基本

全港湾の春闘統一要求

日程で全港湾の第四〇回中央 月三十一日から二日間の るもの、 とは二〇二五年までに六五歳 の定年延長についても日港協 になってたたかえる金額を確 定年制を確立するということ が一番興味を抱いて耳を傾け 「賃金引き上げ要求は組合員 全港湾組合員が一緒 六五歳まで をつけなければならない。

とも港湾分会は死亡・一~三 災企業補償については少なく 抜くことをお願いする」、「労 での定年延長を全力で勝ち取 ている支部もあるが六五歳ま っていくことを掲げたたかい 一律二万円、 既に勝ち取っ

かない。全国港湾の中央委員 う態度であれば立ち上がるし に従うことになろうが、 あっせん案が出されればそれ れているあっせんについて、 うお願いする。その上で全体 業側がそんなの関係ないとい ては、現在中労委でおこなわ 全国港湾産別運動強化につい 底上げを図っていきたい。 四000万円統一となるよ あっせん案が出されても

正の上) 地建設を阻止し、真の民主主 いきたい。そして、皆さんの は全港湾の運動の一コマを広 践講座」が開催され、 上をめざしての 合わせて、写真撮影技術の 義を取り戻す」特別決議を採 年春闘方針案(文言を一部修 ち取っていきたい」とまとめ 力を借りながら一九春闘を勝 また、中央委員会の開催に そして最後に「辺野古新基 この総括答弁を受け、 を満場一致で可決し 九

く伝達すべく技能向上に奮闘 していた。 「写真撮影実 (片柳悦正 受講者



左は、毎日新聞新潟支社・東海 林支局長。彼は新聞労連委員長時 代に沖縄セメント工業闘争を取材 連帯した経過があり、完全勝 利の報告には感銘を受けていた。 中央は参議院議員の森ゆう子さん (全国港湾の院内集会にも参加。13 日の週から辺野古視察をする)。 沖縄全国大会で頂いた泡盛と一緒 に写真撮影。

りましたが、 ました。 たが、 るが全港湾からも質問をして で示され進んで行くことにな

にて盛大に行う事が出来まし 新潟支部執行部、 新年旗開きを開催しました。 去る、一月十二日に私達は 来賓を含め総勢一〇〇名 各分会執行 開 政 に するには、 冶災害であり、この事を打 いては、 一湾のかかえる全ての問題 あらゆる政治闘 安倍政権による

西西

席

部

を代表し挨拶を述べました。 支部の鈴木委員長が主催者 る 争 市 勝利 県政、 我々の考え方を

権の横暴について報告を受け

国会情勢の報告と安倍政 村ちなみ氏から出

け

員をより多く誕生させな ばならないと強く訴えま 国政に反映でき

らも決意表明を受けました。 方自治体選挙の推薦候補者か ました。また、今年行われる地

結ガンバローで締めくくり 長谷川代行の乾杯で始まり、 最後は松田青年部長の 新年最初の行事とな

めの良い景気付となりました。 カラオケ大会などもありまし 新潟支部書記長 九春闘をたたかい抜くた 雇用と職域を守 佐藤正巳

議員・森ゆうこ氏、衆議院議員 加を頂きました。特に参議院 各方面より多数の方々から参 新潟地区労会議をはじめとし 来賓には、 た。 、県平和センター、

辺野古新基地建設埋め立て土砂搬出港の岸壁が台風24号の影響で損壊し した。政府・沖縄防衛局は、土砂搬出作業を再開させるために地元 関係各所に復旧工事を急ぐよう圧力をかけています。

「辺野古新基地建設を阻止し、真の民主主義を取り戻す」特別決議

翁長前知事が埋め立て承認を撤回し、沖縄県民「オール沖縄」

辺野古新基地建設反対を力強く訴えました。翁長前知事の遺志を継いだ

沖縄県は改めて政府に対し

度が、国や行政機関の間で悪用・濫用され、埋め立て承認撤回の効力を停止

させるなど、立憲主義、法の下にある公平・平等はもはや存在しません。

完了には必要な時間を要するなどと、沖縄県は当該港が当面使用出来ないと して、政府・沖縄防衛局と対峙しています。 阻止にむけて奮闘しています。

戦後27年間、沖縄は米軍統治下にあり、県民は米軍の武力・威嚇に脅え自 由、人権、財産そして尊い命を幾度も奪われ生きてきました。本土復帰47年 をむかえ、沖縄県民の民意・自由・人権を奪っているのは今や米軍に変わり 日本政府です。県民の生きる権利、言論・自由を保障する権利を取り戻す為 にも、安倍自公政権を打倒しなければなりません。そのためにも、来る2月 24日に施行される「辺野古新基地建設の是非を問う・県民投票」を実現させ、 県民の総意を日本政府に示し、控える各選挙闘争においても野党共闘を更に 強化してたたかわなければなりません。

全港湾は労働運動の先頭に立ち、組織一丸となって取り組む事を決議す

2019年2月1日

全日本港湾労働組合 第40回中央委員会

小名浜地区 第65回流

九香閩 回中央委員会開催 立ち上がろう!行動あるのみ



中央委員会が二月六日、七日 湾)、上村中央委員(検定労 長団は藤崎中央委員(全港 湾からは四四名)が参加、議 に開催され、二一〇名(全港 全国港湾連合会の第一一回

前協議制度無視での荷役強行 の件について触れ「事前協議 た雇用と職域を守るための事 立ち、二月二日に沖縄で起き 員長 (全港湾) があいさつに 開会にあたっては真島副委

であり、年間スト権を行使し れたことはとんでもない話し めてほしい」と中央委員会参 たい、行動を構える決意を固 守るための事前協議が無視さ 執行委員長も「雇用と職域を 表してあいさつした糸谷中央

常に重い課題である」と事の 無視しの暴挙は断じて許せな い。全国港湾に課せられた非 重大性を投げかけ中央委員会

続いて中央執行委員会を代

加者に呼びかけるところから

央労働委員会でのあっせん問 の力で一つにまとまって行と 問題があるが、行動を伴わな 生した死亡事故等々、重大な 題、年明け早々に連続して発 ければ何も変わらない。団結 話を切り出した。そして、「中 う」と気勢を上げた。 一九春闘要求について

提案をおこなった。 玉田書記長は、港湾の体制

し、四〇歳三六八、九〇〇円 八四、五〇〇円、

場を守る必要がある、日港協 的合理化に反対し暮らしと職 立していこうとし要求内容の 賃金に回答すべきであるとし は早急に産別協定・産別制度 た上で魅力ある港湾労働を確

き上げ(産別最低賃金を月額 準賃金を全港・全職種適用と 金を改定 [六%アップ]。基 四、六〇〇円に改定し当該労 〇二二円に改定。在るべき賃 に改定。標準者賃金を、二六 そして、産別制度賃金の引 、日額八、

アンス再編等にともなう雇用 働者の賃金を到達させる)、 と就労への影響措置、港湾倉 認可料金制度の復活、アライ 特定港湾倉庫の指定促



0 規 1

な 部

(規程)の改定について 全国港湾規約、綱領、規定 からは時間をかけて議論を 案)」が示された。 中央委 案の承認を得たいとして 約を改めて整備し、次の第 取り組みを進めたいとし、 **ることから、**早急に法人化 ってから一〇年が経過して 一回定期全国大会で改正規

三島川之江港の指定港化、港 体 湾労働者の職域、産別協定の 全港・全職種適用、指定事業 等々ポイントになっている 六五歳までの定年延長、

また、全国港湾が連合会と 分の提案を受けた。 むとした。 年も五〇〇円カンパに取り組 国港湾春闘財政については今 ルしていくとした。また、全

く港湾労働者の要求をアピー 中央統一行動をおこない、広 提出、三月十三日、十四日に 港湾団交をおこない要求書を 春闘全体の進め方について 進めて行くこととなった。 は、二月十九日に第一回中央 の議案を可決、一九春闘方針 れたが、改正案で今後検討を 尽くすべきとの意見が添えら を確立した。 そして、討議の後、すべて 春闘全体の進め方として

問題です。 くす事に繋がります。難しい

(片柳悦正)

年」は常に耳を傾けスキルア います。弱い人から優しくし ップを目標にし、「耐える」 さを「ほどこし」てくれま は無いはずです。弱さを克服 てもらってもあまりうれしく なければなりません。「青 す。「青・壮・老」供に役割 みがよくわかり本当のやさし し強くなった人ほど人の悲し は実力なき善人」と言われて にあった目標と行動を心がけ 最後に、「悪人を憎む善人

私達は

こうする

張感とスキルアップを目指 台わせの現場に於いて常に 患いと思います。事故と隣 事も勉強です。「老年」は経 けて取り組むことが、残った を迎えられる環境を「壮年」 る)で誰もが五体満足で定年 し、心のこもった厳しい言霊 験をもとに背中で見本を示 我々の成すべきことではない が橋渡しとなり労災撲滅にむ (叱っている人が泣いてい

(大阪支部 國分仁昭)

地域の労働運動をさらに発展させよう 名浜地区労第六五回定期大会

うどう

協議会、議長の矢代です。小 がほとんどで、私は団体交渉 名浜地区労は地域労働を基本 成されています。小名浜地区 に二四単組、一二〇〇名で構 労は上部団体をもたない単組 など含め要請 があれば参加 ります。政府・自民党は、国 ことだと思っています。

わんろ

十二月五日(水)十八時よ

五名の参加で開催されまし り小名浜地区労定期大会が四

た。来賓として社民党、共産

私は、小名浜地区労働組合

問題です。 の問題で、 とは、出入国 ささせていた 期大会の中で す。今回、定 だいていま 社会保険も吹 つ間違えれ 管理法改正案 私が訴えたと 国人労働者の ていただきます

民のことを考えずに大企業の 外国人労働者の身分や社会保 言いなりで進めていますが、 合に加入させることが大事な なければならず、まず労働組 障を先に決めてから受け入れ

名浜地区労の事務局次長とし とに訴えてきましたが、今回 くことを期待し、報告とさせ をさらに発展させていくこ した。彼らが地域の労働運動 て執行部入りしていただきま 木書記長、郡司書記次長が小 全港湾小名浜支部より、佐々 らずこと二年間、ことあるご 地区労でも役員のなり手がお 持たない単組を引っ張ってい と、全港湾として上部団体を 話は変わりますが、小名浜

矢代正人) 全港湾は、「魅力ある港湾

き飛ぶ話にな

(小名浜支部

指差し呼称で 安全確認

5 S · [□

か、料金ダンピングなどの影

響から他社との差別化を考

叱り指導するのか?危険な場 動く、このような時に、どう 目な人に限って不必要によく

合は港湾用語で「どけ~」と

のですが、中小零細であると が優先するのがあたりまえな 安全を優先するのか!作業効

案がなされ、現場においても

の項目ごとに対策を考え実施

していく。しかし一番むずか

率を優先するのか!勿論安全

若い人や経験の浅い人、真面 しいのが「人」の問題です。

一 危険予知活動表 ラントコンテナ ショーソンデルを 富貴作業でのショーソンデルを集まれて、東海平政

革鉄云使用する場合,争中陌云傷水了だりがある

押付いしょしも使用し、人が載いる時は移動しない

子袋を使用了 手を保護する。

時、班長や監督と安全委員

か「こら~」とか「ころすぞ

~」となりますが、これは先

(供に組合員) との葛藤がし

え、企業存続の立場に立った

ばしば観られます。つまり時

全港湾の伝統である話合い 間との勝負です。これに対し

の言葉で最大限の効果が得ら

人達の経験から、また最小限

(大衆路線) により問題の共

に現場ではよくつかわれま れるため、あたりまえのよう

なければなりません。

 \emptyset

有とみんなで解決策を模索

、これによって団結を図る

にむけて考えてみたいと思い 及び労災撲滅と労働環境改善 もう一度皆さんと問題の共有 しあげます。さてこの機会に 族、関係者の方、又分会に対 に起こってしまいました。親 して哀悼の意とお悔やみを申 今回、重大事故が立て続き 労働の確立への提言」 や

針」(一九七七年一月)で述 るべき港湾労働確立への指 質の向上について」や「作業 題点と改善すべき事項の中に 基準の制度化と安全基準に基 べているように、幾つかの問 つく作業と安全点検化による 一職業訓練制度確立による資

労災防止について」などの提

ことをしてきました。分会毎 の温度差はあるものの常に葛

別の要因なのか?」それぞれ のか?設備なのか?それとも のか」「どうすれば再発防止 開き、「なぜ事故が起とった ができるのか」「要因は人な の労災についても職場集会を 労災が発生した場合や他社で しながらやってきました。

思ってしまう。そんなことは 特に後悔を繰りかえす人が けでは無い」かもしれない だまって背をむけてしまい誰 くないとか条件反射のように が、怒る事によって嫌われた が、「無関心と馴れ」が原因、 ありませんか!「誰が悪いわ かが注意してくれるだろうと いことはみんな解っている 事故が起こってからでは遅 ど通常作業にも大きな影響が り が で 全 されるとハイの高さ制限や安 事故が続くと労働基準監督 効果のため、人員補充や賃 てきます。そうなると費用 エリア・安全通路の確保な ます。「特認職場」に指定 や様々な機関で規制がかか 元込めない中、あまり会社 にも影響してきます。原資 無理を言うと経営意欲をなる でしょうか!